

1976年の創業以来、真空装置設計・精密機械設計事業を展開してきたAZAエンジニアリング（中央区鹿沼台）。近年では半導体製造装置などの各種産業機械&装置設計製作をはじめ、「遊園地&テーマパークの技術コンサルタント事業」や「イラスト&デザイン事業」「コスメティクス事業」など、その領域は多岐にわたっています。2022年には受託型ビジネスの枠を超え、新サービス「技術屋のサブスク」をスタートさせました。一方で中小企業では異例の週休3日制度も導入し、従業員が働きやすい職場環境の整備にも力を入れています。「中小企業は常に変化・進化を続けなければならぬ」と熱く語る、長谷川孝社長に話を聞きました。

「まずは事業内容について教えてください。」

「当社は各種メーカー様から受注をいただきながら、主に真空装置設計・精密機械設計事業などを展開しています。特に高い真空技術と、組立治具から自動機全体まで構想・設計・開発・導入すべての工程を一括して請け負うことができるのが強みです。半導体製造装置のほか、バイオジェット燃料の藻類からの抽出システムや、カーボンナノチューブの量産化システムの設計・開発にも取り組むなど、最先端技術の一端も支えています」

「現在は主軸のエンジニアリング事業のほか、遊園施設やテーマパークの技術コンサルを行うアミューズメント事業部、イラストや漫画のデザイン事業部、コスメティクス事業部の3部門を新展開しています」

「22年春からサブスクリプション（定額課金）による新事業を始めました。」

「多くの製造業で設計などの技術者が不足していることや、新分野に進出する

企業が増えていることをにらみ、技術的な困りごとの受け皿になる技術支援のサブスクサービス『技術屋の相談役®』を

技術力の源泉は 働きやすい職場環境にあり

製造業のサービス化も視野

AZAエンジニアリング株式会社 代表取締役 **長谷川 孝**さん

始めました。サポートを受けたい企業と契約を結び、サブスクリプションで定められた稼働時間内であれば、いくつもの技術支援が受けられるサービスです。弁護士のサブスクをヒントに、ハードルを低くして、中小・ベンチャー企業でも依頼しやすいサービス形態にしました」

「具体的にどんな内容でしょうか。」

「電話や出張による相談をはじめ、取引先への同行、仕様書チェック、納品時に提出する簡単な証明書類作成、現地調



査などです。大手電機メーカーや精密機器メーカーのOB技術者を積極的に採用したことで可能になったこの新事業なのです。受託型ビジネスの枠を超え、製造業のサービス化へ向けての足がかりとして、今後力を入れていきたいと思っています」

「社員第一主義を掲げ、働きやすい職場環境の整備にも積極的です。」

「週休3日制度を設計部門のシニア社員限定で試験的に導入しました。24年1

月からの本格導入を目指しています。また、本人の希望する働き方に応じ、在宅勤務（テレワーク）もフレキシブルに選択できるようにしました。ほかにもBGMや観葉植物などを取り入れた最適な雰囲気づくり、家族の記念日などに使えるメモリアル休暇など、従業員とその家族の幸せのために良いと思う制度を積極的に取り入れています」

「制度の中には、週1回のグループディスカッションを経てカタチになったものもあり、社員自らが組織の一員だと自覚する機会にもなっています。『働くをおもしろくする』ためのさまざまな取り組みは、働きやすい職場環境の整備や優秀な人材の囲い込みにつながるだけではなく、何よりも一人一人の人生そのものを豊かで光り輝くものにするはず。目下の目標は25年までに平均年収を地域ナンバーワンにすることです」